

この度は、エレクター製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書を良くお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。



ご使用前に必ずお読みください

■この説明書はご使用中、分解時に必要となりますのでお手元に保管してください。

■ご使用前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。

※商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、ご使用せずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

■ご使用は、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく操作してください。

※誤ったご使用は破損やケガの原因となります。

■お取扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下・事故については責任を負いかねます。

■ご使用になる方は記載の「警告・注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。

警告・注意



警告

●天板・底板には物を載せないでください。

破損や落下により思わぬ事故の原因となります。

●規定寸法以外の物を載せないでください。

本製品には規定トレイサイズ以外のものを載せないでください。

JCTL・JCTS			JCTB			JCTW			JCTH		
規格トレイサイズ : 330×330 (mm)			規格トレイサイズ : 330×330 (mm)			規格トレイサイズ : 330×330 (mm) : 440×330 (mm)			規格トレイサイズ : 330×330 (mm)		
品番	棚段数	棚板枚数	品番	棚段数	棚板枚数	品番	棚段数	棚板枚数	品番	棚段数	棚板枚数
JCTL・JCTS 20	5	10	JCTB 30	5	10	JCTW 30	5	10	JCTH 15	5	5
JCTL・JCTS 24	6	12	JCTB 36	6	12	JCTW 36	6	12	JCTH 18	6	6
JCTL・JCTS 28	7	14	JCTB 42	7	14	JCTW 42	7	14	JCTH 21	7	7
JCTL・JCTS 32	8	16	JCTB 48	8	16	JCTW 48	8	16	JCTH 24	8	8
JCTL・JCTS 36	9	18	JCTB 54	9	18	JCTW 54	9	18	JCTH 27	9	9

●耐荷重を超えて物を載せないでください。

耐荷重は、一段あたり等分布荷重で10kgです。過積載は破損やケガを招く恐れがありますので、厳守してください。

●重量物を積載して移動する時は、特に安全に注意し、慎重に操作してください。

●本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に上るような行為は絶対に行わないでください。

転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。

●商品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。



注意

●組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。

●移動時に、積載物が落下しないよう注意してください。

●段差の通過時など、キャスターに強い衝撃が加わらないようにしてください。

●移動するとき必ず扉を閉めて移動してください。

●駐車の際は必ずキャスターのストッパーを掛け、移動時には必ず解除してからご使用ください。

●傾斜した所や、段差のある所など不安定な場所には設置しないでください。転倒や積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。

●サイドパネルのクリア窓を強く押すと、破損することがあります。

●本製品の使用環境は0℃～40℃の屋内仕様です。火気の傍や屋外、直射日光の当たるところなどでは使用しないでください。

●本製品を車（トラック）などに載せての搬送は行わないでください。

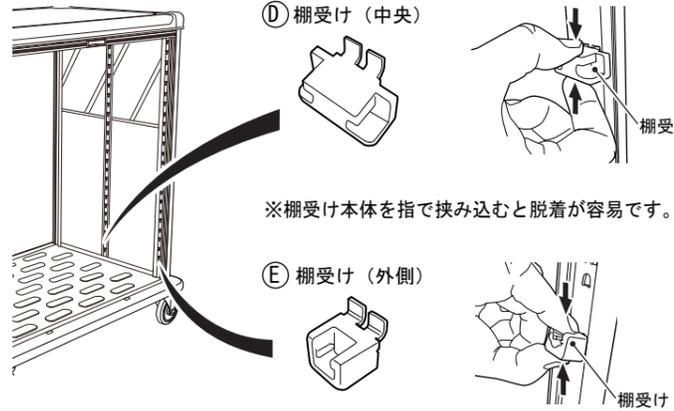
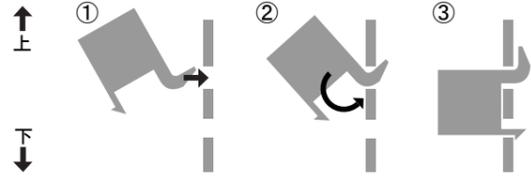
●殺菌灯のある環境では紫外線により製品の劣化や変色などが起こる場合があります。

棚板の取り付け・取り外し

棚受け取付け

まず最下段に棚受けを取付けます。(必ず最下段に取付けて下さい。)
次に2つおきに棚受けを取付けていきます。
(最下段以外は、任意の位置に取付けて頂く事もできます。)
棚受けの形状は2種類ございます。お間違えのないよう取付けて下さい。

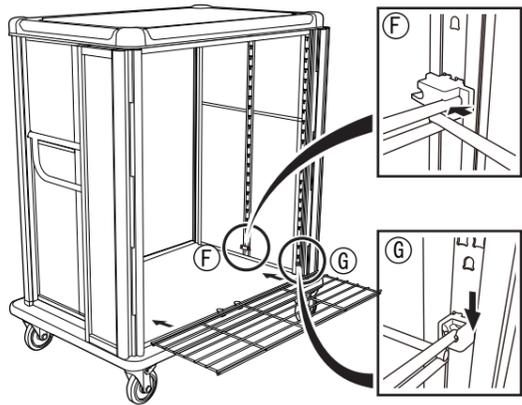
ご注意 先に上部突起を差し込み、差込んだ部分を軸に回転するように下部突起を差込んでください。



棚板の取付け

棚受けの取り付けができましたら、最下段から棚を取り付けていきます。その際最下段には必ず棚を取り付けるようにして下さい。このとき棚が平行に取り付けられるよう高さを合わせてください。

ご注意 棚板を入れる際サイドパネルにあたらぬよう気をつけて入れてください。パネルに傷がつくおそれがあります。



はじめに、中心棚受けに棚を差込みます。

※棚の取外しかた

①棚受けを指で押さえる



棚受けを押さえた状態で、棚を上へ引上げます。棚受けと一緒にはずれないよう押さえてください。

※棚受けは消耗部品です。棚受けが棚板を保持できなくなりましたら、早急に棚受けの交換を行ってください。搬送時、棚板が落下する場合があります。

キャスター操作

常温配膳車のキャスター（2輪分）は下記の機能を切り替えてご使用いただけます。

- 旋回ロック…キャスターの旋回を止めることにより、固定キャスターとして使用できます。
- ロック解除…キャスターの旋回がフリーになり、自在キャスターとして使用できます。

ご注意 キャスター操作は必ず靴を履いて足で操作してください。手や素足で操作しないでください。

● 通常走行

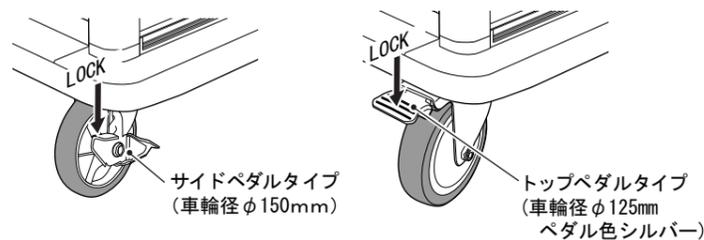
通常走行を行う際、必ず後輪のキャスターを2輪とも旋回ロックをかけて走行してください。

- ①直進時は右図のような立ち位置で、ハンドルを持って操作してください。
- ②段差を通過するときは、衝撃を与えないようにゆっくりと通過してください。
- ③斜面走行時は、積載物の落下や転倒に注意し慎重に移動してください。

ご注意 周囲や通路の安全を確認した上で、積載物を落下させないようにゆっくりと移動させてください。

● 自在キャスター/ストッパーのかけかた

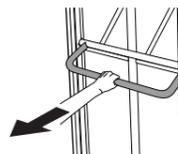
ご注意 ご使用いただく配膳車によってフットレバーの仕様が変わります。



※ハンドルを引いて動かす場合

ハンドルを引く場合は、●の部分を持って引いてください。

ご注意 足が巻き込まれないようご注意ください。

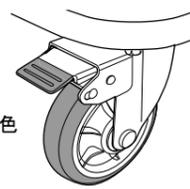


● 旋回ロックのかけかた

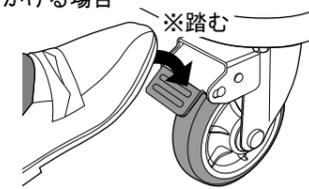
進行方向後方のキャスターペダル(色付き)を軽く踏み込んで、カートを前進させると、カチッと音がして所定の位置で旋回ロックします。

■ 旋回フリー時

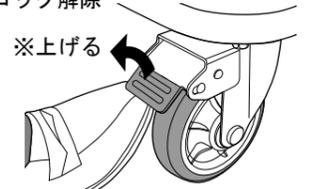
車輪径φ150mm
→ペダル色:黄色
車輪径φ125mm
→ペダル色:黄緑色



■ 旋回ロックをかける場合



■ 旋回ロック解除



操作

● 移動・駐車

- 移動の際には必ず扉を閉めた状態で移動してください。
- 移動の際には、サイドパネルのハンドルを握んで、周囲の安全を確認しながら移動してください。
- 駐車の際には平坦な場所を選び、必ずストッパーをかけてください。
- 移動の際には必ずストッパーを解除してから移動してください。

ご注意 衛生管理のため、移動の際は必ず扉を閉めてください。

■ 搬送のご注意

- 急激な操作（発進・停止・旋回）は積載物や棚板が落下する恐れがあります。ご注意ください。
- 急な斜路では積載物がズレ出す場合がありますので注意してください。
- キャスターが前方の障害物、段差等に急に当たると転倒する恐れがあります。床面の状態にはご注意ください。

お手入れ

- 本製品は水洗いできません。中性洗剤を使用し布などで汚れを拭き取ってください。
- 各部位清掃時は下記に注意し清掃してください。
 - 天板・床板：中性洗剤を使用し、柔らかい布などで清掃してください。
 - 棚板：中性洗剤で清掃後、水分が残らないよう乾いた布で拭き取ってください。
 - 側面・扉：中性洗剤を使用し、柔らかい布などで清掃してください。
 - キャスター：中性洗剤を使用し、旋回部や車輪軸付近に水分が付着しないよう清掃してください。車輪軸にゴミや髪の毛を巻き込んだ場合は速やかに取り除いてください。

● 清掃後に水分を残したまま配膳作業を行わないでください。廊下などへの水滴により思わぬ事故の原因となります。

● クレンザーなど研磨剤入りの洗剤や、ナイロン・金属たわしなど硬いものは使用しないでください。

● ペンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用はさけてください。

● エタノールを使用する場合は適切に希釈し、使用後は本体に残らないよう拭き取ってください。

● 酸性水や次亜塩素酸などを含む消毒液は、製品を腐食させますので使用しないでください。

● その他の消毒液を使用する場合は、溶液メーカーの説明にしたがい影響のないことを確認してください。

● 熱湯をかけて消毒したり、清掃しないでください。変形し故障の原因となります。

● 製品の耐用温度範囲は0～40℃です。温水を使用した長時間の清掃は避けてください。

● 食材の汚れが付着したときには速やかに拭き取ってください。マヨネーズや食酢などの油脂や酸性のものなどは、長時間放置すると色移り・変形・製品表面のひび割れなどが発生する恐れがあります。

● ハンドルや扉ヒンジに軋みが発生した場合は回転部に適切な潤滑剤を塗布してください。